

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
外科学概論 1											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	富田泰彦			実務 経験	有	職種	医師 (病院にて勤務)				
授業概要											
外科的治療の基礎と具体的方法を学びます。											
到達目標											
外科学を学ぶことで、創傷治癒、感染の知識、抗菌薬の使用法、各種栄養管理法を中心とした術前術後管理の知識、臨床病理学的知識とこれに基づいた切除検体の取り扱い、術後患者の長期経過における各種機能障害の予防法と治療法などの知識が深められる。また、心肺蘇生法を学ぶことで要救助者に対して、今や一般市民も行える一次救命処置 (BLS) の気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫について熟知することが到達目標となる。											
授業方法											
教科書を中心として授業を進める。症状・診断法・外傷などの柔道整復師として求められる知識量に配慮した内容により臨床現場において必要な能力を育成する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度 (私語・飲食・居眠り) には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「外科学概論」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	損傷創傷 (分類)										
第2回	熱傷①□9の法則・5の法則・デブリドマンなど)										
第3回	熱傷② (様々な合併症や特殊な部位の熱傷その他)										

柔道整復科

外科学概論 1

第4回	頭部外傷腹部外傷（発生機転・分類・症状・診断・治療）
第5回	胸部外傷（発生機転・分類・症状・診断・治療）
第6回	ショック①（分類と各症状・病態・治療）
第7回	ショック②（AEDによる心肺蘇生など）
第8回	7回までの振り返りと確認演習
第9回	炎症（定義・分類と外科的感染症）
第10回	感染（外科感染症の種類）
第11回	腫瘍①（概念と良性・悪性腫瘍の形態的比較）
第12回	腫瘍②（主な良性・悪性腫瘍の種類と病気分類）
第13回	輸血（輸血の基礎知識と適応・実際）
第14回	13回までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ